

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	こども発達支援センター 大分なごみ園		
○保護者評価実施期間	2024年12月27日 ～ 2025年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2024年12月27日 ～ 2025年1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した玩具・広いホールや園庭で配置基準以上の職員を配置しゆったりとした環境の中で、ここに合わせた支援を提供出来ている。	園庭やホールが広い為、安全面に考慮し危険な物や箇所がないか毎日チェックしています。	近くに農園芸が行える畑も所有しています。野菜作りや芋の苗植え収穫等を行っています。調理室も設置している為、今後は調理活動なども実施していこうと考えています。
2	保護者や保育園等と密な連携、毎月実施している職員会議やクラス会議等で個々の発達段階について共通意識を持ち統一した関わりを提供している。	朝礼・終礼などで日々の変化などを都度話し合い共通理解が深まるように努めています。	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	自園調理をではなく保護者等からお弁当を持参して持っている。	利用定員が少なく、調理員を雇用する人件費が捻出できない為。	宅配サービスの活用等で保護者の弁当作成に係る負担を軽減していく事も検討していく。
2			
3			